



広島市の街路事業

都市計画道路 中広宇品線(2工区)
の整備効果

広島市道路交通局道路部街路課

道路整備の概要

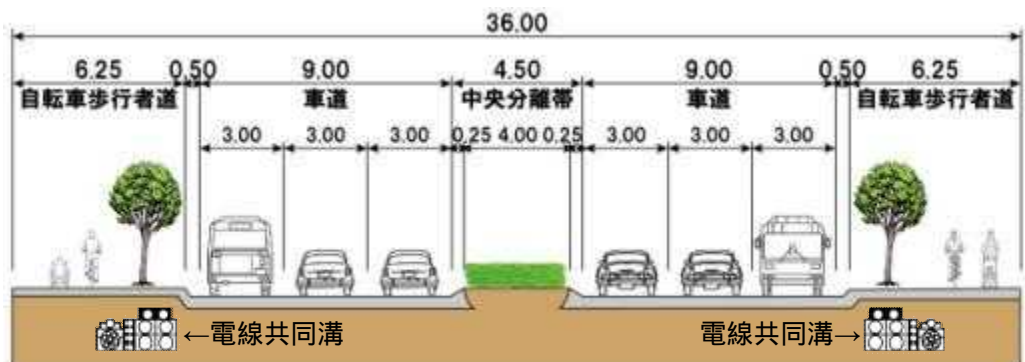
- ・ 都心部及び拠点地区（宇品～段原～広島駅南口周辺～中広）を連絡し、周辺道路の交通緩和を図り、また、市街地の形成を図る重要な幹線道路です。
- ・ 全線7.7kmのうち、これまでに広島高速4号入口から県立広島大学前までの6.4kmは整備済みであり、今回、残る区間の1.3kmの整備が完了しました。

整備の概要

- 道路延長：1.3km（県立広島大学前～広島競輪場前）
- 道路幅員：36m（15m 36mへ拡幅）
- 車線数：6車線（2車線 6車線化）
- 事業期間：平成11年(1999年)8月～平成21年(2009年)5月
- 事業費：77億4,300万円
- 道路規格：第4種第1級 設計速度：60km/時間



標準断面図
(今回供用区間)



整備効果把握調査の実施内容

アンケート調査・ヒアリング(聞きとり)調査

- ・完成した中広宇品線に関するご意見をお伺いするために、アンケート調査及びヒアリング(聞きとり)調査を実施しました。

アンケート調査内容

項目	内容
対象地域	南区宇品1丁目・2丁目・6丁目・7丁目
配布期間	平成22年2月10日
回収期間	平成22年2月11日～26日(約2週間)
配布回収方法	ポスティング配布・郵送回収
配布枚数	対象地域全世帯(1,503枚)
回収枚数	445枚(回収率29.6%)

ヒアリング(聞きとり)調査内容

項目	内容
対象施設 (8箇所)	南消防署宇品出張所 広島南警察署 宇品東小学校 宇品中学校 広島港宇品外貿ふ頭 指定身体障害者授産施設 自動車学校 民間工場
調査期間	平成22年3月8日～16日
調査方法	施設訪問によるヒアリング (調査票は事前配布)

交通実態調査

- ・完成前後の交通状況の変化の確認を行うため、交通実態調査を実施しました。

調査日

調査時期	調査日	
	平日	休日
完成前	平成18年2月1日(水)	平成18年1月29日(日)
完成後	平成22年1月26日(火)	平成22年2月21日(日)

調査項目

調査時期	調査項目
完成前	自動車交通量(7時～19時(12時間)) 歩行者交通量(7時～19時(12時間)) 渋滞長(混雑時)
完成後	移動時間 (混雑時及び平常時)



自動車での移動が安全・快適になりました

- ・6車線化されたことでスムーズに移動できるようになり、走りやすくなりました。
- ・排水性舗装を施したことで、雨天時に雨水が路面に溜まらなくなり、視認性も上がり安全になりました。また、騒音を小さくする効果もあります。

完成後

6車線化により、スムーズに移動できるようになりました。

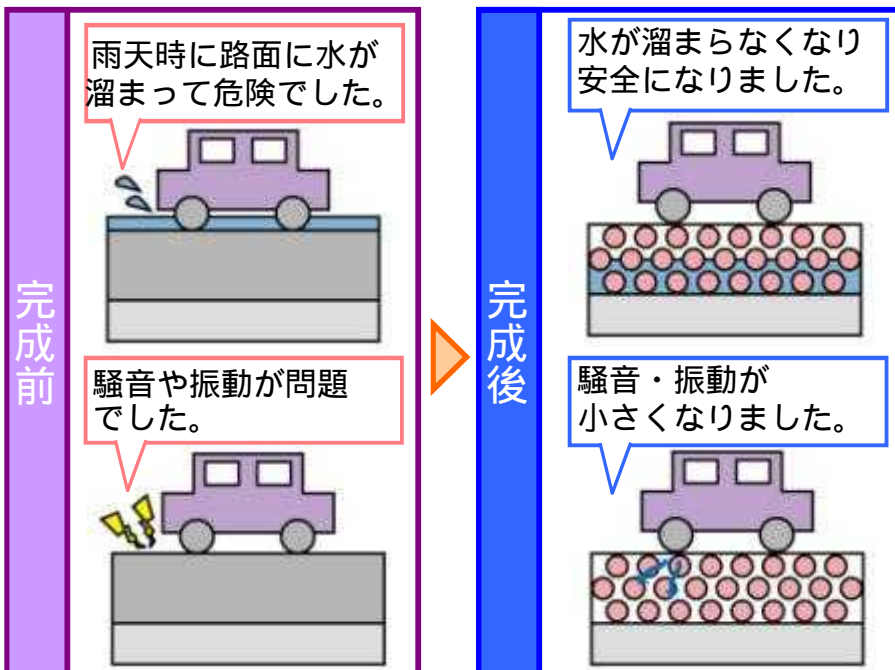


完成前

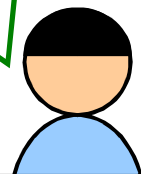


地域の方の約7割が安全に走れるようになったと回答がありました(1)。

排水性舗装により、安全になりました



- ・交通の流れがスムーズになり、混雑が少なくなりました。
- ・路面の凹凸がなくなり、走りやすくなりました。



地域の声
(民間工場・ふ頭利用者)

排水性舗装とは

雨水が路面上に溜まることを防ぎます。騒音を小さくする効果があります。

1：アンケート調査は南区宇品東1丁目,2丁目,6丁目,7丁目の方に実施しました。

歩行者・自転車の通行が安全・快適になりました

- ・歩道が広くなり、歩行者と自転車の通行を視覚的に分離したことで相互の接触の危険が少なくなりました。
- ・バリアフリー化されたことで、みなさんにやさしい道路になりました。

歩行者と自転車の通行を視覚的に分離しました。



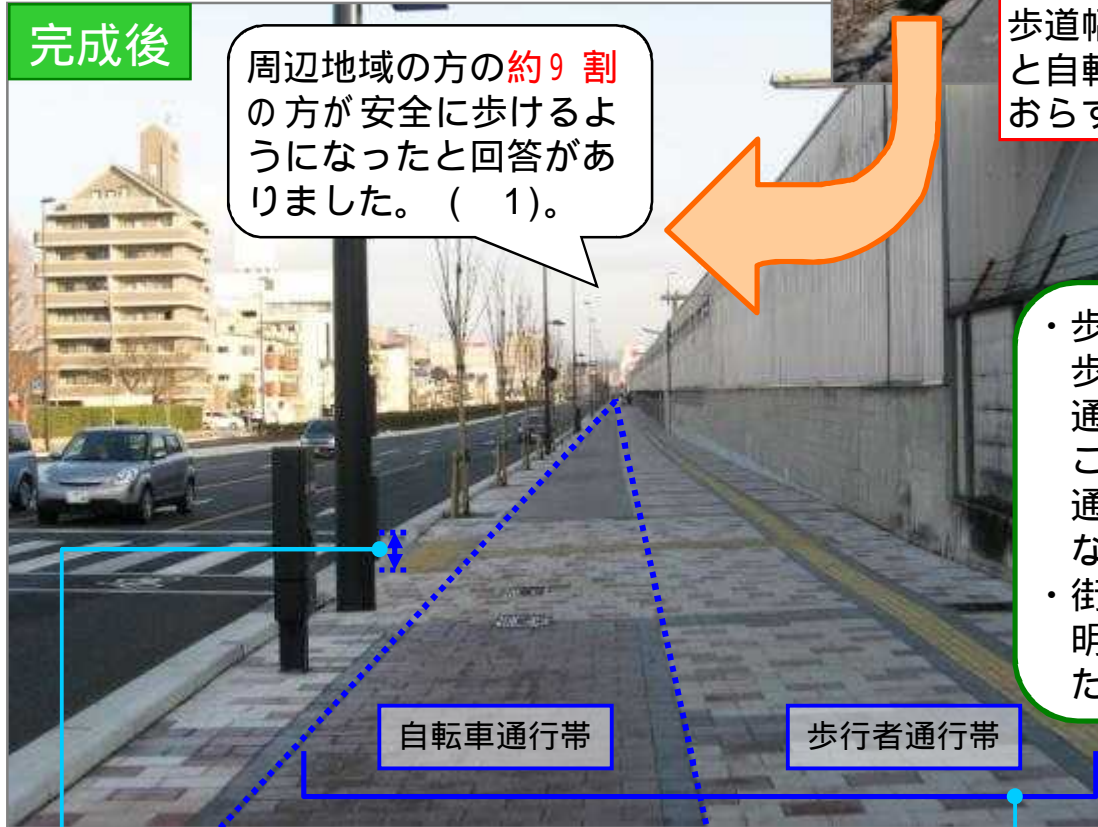
歩行者と自転車の通行区分を分かりやすくマーキングで標示



完成前

歩道幅も狭く、歩行者と自転車が分離されておらず危険でした。

完成後



周辺地域の方の約9割の方が安全に歩けるようになったと回答がありました。(1)。

・歩道が広くなり、歩行者と自転車の通行が分離されたことで、安心して通学できるようになりました。
・街路灯も整備され、明るく安全になったと思います。

自転車通行帯

歩行者通行帯

バリアフリー化により安心・安全になりました。

歩道と横断歩道の段差 (1~2cm)

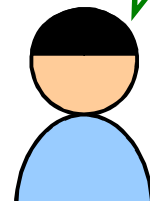
車いす利用者と視覚障害の方の通行に配慮した高さにしました。

通行区分 (歩行者と自転車)

歩行者と自転車が安心して通行できるようにわかりやすく区分しました。

歩道の勾配

車いすでも通行しやすい勾配にしました。



地域の声 (学校関係者)

1: アンケート調査は南区宇品東1丁目,2丁目,6丁目,7丁目の方に実施しました。

災害に強く、景観に優れた街並みになりました

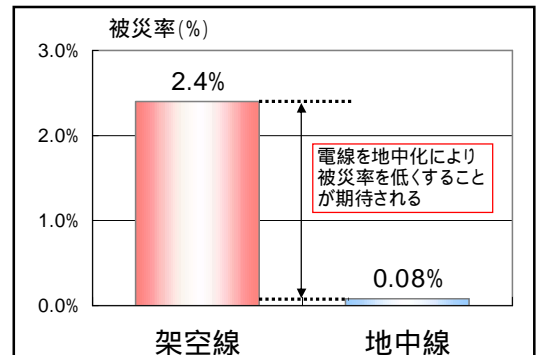
- ・無電柱化したことで、地震時の電柱倒壊による危険がなくなる等、災害に対して安全になりました。
- ・また、電線を地中に埋設したことで電柱がなくなり、きれいな街並みが実現しました。

完成前



電柱や電線が景観を阻害し、また、地震時には倒壊の危険がありました。

電話回線ケーブルの被災率



平成7年1月の阪神大震災で、最も被害の大きかった神戸地区の電話回線ケーブルの被災率が、架空線で2.4%、地中線が0.03%と、地中線の被害が架空線の80分の1程度であった。

出典：街路事業における成果指標の検討調査業務 (H18.3 広島市)

完成後

無電柱化によりきれいな街並みになりました。



地震による電柱の倒壊の危険がなくなりました。

地域の声
(南消防署宇品出張所)



地中の様子

電線共同溝
(この管に電線が收容されます。)

電線共同溝とは

電線をまとめて地中に收容する施設です。
地中化により、災害に強く、美しい街並み可以实现できます。

地域への様々な効果を生み出しました

- ・ 周辺住民の方や関連団体の皆さまによる道路緑化ボランティアが行われるなど、住民主体でのまちづくりへのきっかけとなりました。
- ・ 花火大会などのイベント時は臨時のバス乗降場になるなど、来場者の移動などにも貢献しています。

まちづくりのきっかけになりました

- ・ 地域の交流が盛んとなり、まちづくりについての話し合いの機会が増えました。
- ・ 本施設の入所者をはじめ、地域住民が積極的に地域活動に加わる機会ができ、コミュニティの形成を図ることができました。



ボランティア
(障害者支援施設)



活動事例

<目的>

広島市と協力して、道路の緑化・清掃管理等の活動を行い、地域の美観向上を図るとともに、地域内のふれあいを深める。

<実施区域>

(都)中広宇品線(2工区)
(県立広島大学前～宇品IC入口)

<実施団体>

宇品東連合町内会
宇品東地区社会福祉協議会
社会福祉法人広島県肢体障害者連合会

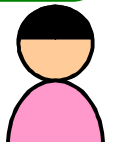
イベント開催時の来場者の移動にも貢献しています



広島みなと夢花火大会での交通規制



(都)中広宇品線を利用した臨時のシャトルバスが乗り入れられたことにより、来場者の移動がスムーズにできるようになりました。



地域の声
(花火大会の関係者)

移動時間が短縮しました

- ・ 周辺の道路から(都)中広宇品線に交通が転換したことで、宇品電車通り(国道487号)や(都)旭町広島港線などの負担が軽減しました。
- ・ (都)中広宇品線の利用交通量が約1,500台/12時間増加しました。
- ・ 広島競輪場から県立広島大学までの移動時間が約1分短縮しました。

